

# 第6学年 社会科 学習指導案

日 時：平成27年6月30日（火）

指導者：釧路教育研究所 研究部

## 1. 単元名

「全国統一への動き」

## 2. 単元について

### (1) 教材観

本単元にかかわる学習指導要領の主な目標及び内容（抜粋）は、次の通りである。

#### 目標

- (1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

#### 内容

- (1) 我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。
- オ キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、江戸幕府の始まり、参勤交代、鎖国について調べ、戦国の世が統一され、身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かること。

本単元は、戦国大名の群雄割拠の状態から豊臣秀吉が全国を統一した後、江戸幕府が政治を行った時代に至るまでの時期のうち、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、江戸幕府の始まりを取り上げ、戦国の世が統一されたことが分かるようにすることをねらいとしている。

戦い方を工夫しながら勢力を伸ばした織田信長による天下統一への様子や検地や刀狩の資料から豊臣秀吉の政策の意図を考える学習、徳川家康における江戸幕府の成立を調べる学習などが考えられる。

これらの学習を通して、戦国の世が統一され、身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かるようにする単元である。

### (2) 児童観

《 省 略 》

### (3) 本研究との関わり

(学習内容の系統性を踏まえた単元計画)

本単元の系統性を学習指導要領でとらえると以下のようなになる。

〔第3学年及び第4学年〕

- (5) ア 古くから残る暮らしにかかわる道具，それらを使っていたころの暮らしの様子
- (5) イ 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事
- (5) ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例

〔第6学年 本単元〕

- (1) オ キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一，江戸幕府の始まり，参勤交代，鎖国について調べ，戦国の世が統一され，身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かること。

〔歴史的分野〕

- (2) ア 戦国の動乱，ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田（おだ）・豊臣（とよとみ）による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを通して，近世社会の基礎がつくられていったことを理解させる。
- (2) イ 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立及び農村の様子，鎖国下の対外関係などを通して，江戸幕府の政治の特色を考えさせ，幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。

第3学年及び第4学年では，過去の生活における人々の知恵や工夫に気付いたり，地域の人々の生活の変化や人々の願いを考えたりするとともに，地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考える学習を行ってきた。

本単元では，上記の学習を踏まえたうえで，我が国の今日までの歴史に対する興味・関心と愛情を深めるために，3人の武将を焦点化して全国統一の過程をおさえることができるようにする。

また，本単元は，中学校の歴史分野の学習の基礎となる。中学校では，世界の一体化の動きの中で，戦国大名が各地に割拠した時期から，統一政権が誕生して近世社会の基礎が形成される時期へ移っていったことを学習する。織田信長が行った仏教勢力への圧迫や関所の撤廃，豊臣秀吉が行った「検地・刀狩」などの政策によって，中世に大きな力をもった勢力が力を失ったことや，中世までとは異なる社会が生まれていったことなどの大きな変化に気付かせることをねらっている。

(指導に生かす効果的・効率的な評価)

本単元は，6時間と時数的に少ない単元といえる。そのような単元においては，評価を行う回数が1度の観点も存在する。効果的・効率的な評価は，指導に生かす評価と記録に残す評価とを整理することであるので，本単元においては，「社会的事象への関心・意欲・態度」「社会的な思考・判断・表現」「観察・資料活用の技能」については各時間において記録として残す評価を行う。

「社会的事象についての知識・理解」については，3，4，5時間目に評価を行う。3時間目は，4，5時間目の指導に生かすための評価とする。記録に残す評価を4，5時間目とすることによって，効果的・効率的に子どもの学びを見とっていききたい。

### 3. 単元目標

○戦国の世の中が統一されていく様子に関心を持ち、信長、秀吉、家康のはたらきを調べ、全国統一に果たした役割を理解させる。

### 4. 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>全国統一への動きに関心を持ち、信長、秀吉、家康の業績について意欲的に調べようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国統一がどのように進められていくのかについて学習問題を考え、表現している。</li> <li>信長、秀吉、家康の業績を比較したり関連づけたりしながら、それぞれが行った政治の特徴を考え、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信長、秀吉、家康の業績を、教科書を活用して調べ、まとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信長、秀吉、家康の業績と、全国統一に果たした役割を理解している。</li> </ul>

### 5. 単元計画

時間	単位時間の目標	主な学習活動	■評価規準 □評価方法
1 ・ 2	戦国時代の戦いの様子に関心を持ち、時代背景を理解して、全国統一がどのように進められていくのかについて学習問題を設定することができる。	○長篠の戦いの絵図から気づいたことを話し合い、戦国の世の中になった経緯を調べて、学習問題をつくる。	【関】長篠の戦いの絵図を読み取り、気づいたことや疑問に思ったことを進んで発表している。(発言・ノート) 【思】戦国の世の中になった経緯をつかみ、学習問題を考え、表現している。(ノート)
3	織田信長が行った政治を調べ、全国統一に向けて信長が果たした役割を理解することができる。	○信長が全国統一を目ざして行った業績を調べ、当時の人々の思いや信長の果たした役割を考える。	【技】信長の業績について調べ、まとめている。(ノ) 【知】信長がどのようにして全国統一を進めていったのかを理解している。(ノ) ➡指導に生かす評価
4 本 時	豊臣秀吉が行った政治を調べ、秀吉の意図や果たした役割について理解することができる。	○秀吉が全国統一を目ざして行った業績を調べ、当時の人々の思いや秀吉の果たした役割を考える。	【知】全国を統一した秀吉が、どのような社会のしくみをつくったのかを理解している。(ノ) ➡記録に残す評価
5	徳川家康が行った政治を調べ、全国統一に向けて家康が果たした役割を理解することができる。	○家康が江戸幕府を開くまでの経緯を調べ、江戸幕府を開いたことや家康の政治の特徴を考える。	【知】家康がどのようにして江戸幕府を開いたのかを理解している。(ノ) ➡記録に残す評価
6	3人の政治の進め方を比較しながら、それぞれの役割について考えることができる。	○全国統一に果たした信長・秀吉・家康の役割を考えて表現する。	【思】3人の政治の特徴を比較しながら、それぞれが全国統一に果たした役割について考え、表現している。(ノ)

## 6. 本時の学習について

### (1) 本時の目標

豊臣秀吉が行った政治を調べ、秀吉の意図や果たした役割について理解することができる。

(知識・理解)

### (2) 本研究との関わり

(学力の3要素を意識した各過程における授業展開の工夫)

本時の目標は上記のように知識・理解である。秀吉が行った政策により、社会の仕組みが整えられたことを理解できるようにするための1時間である。本時は、記録に残す評価を行う。評価場面としては、まとめの時間を用いる。

授業展開の工夫として、導入では、現在も用いられている米の単位が秀吉の政策によるものだという事実をとりあげ、本時の学習に対して関心をもてるようにしていく。

展開場面では、太閤検地や刀狩といった秀吉の政策について考える。太閤検地や刀狩はどのような政策であったのか教え、政策の意図について考えさせる、「習得し、思考する」流れとする。

まとめの場面では、3、4、5時間目と継続して3人の武将の性格や天下統一に果たした役割を伝えるうたを紹介する。わかりやすい言葉で歴史上の人物や役割について理解し、歴史に対する興味・関心を育んでいく。

(ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導)

本時は、展開場面で焦点化を図った活動を行う。秀吉の政策としておさえる内容は、太閤検地と刀狩である。この2つの内容について同時に秀吉の意図を考えては視点が様々な方向に行くことが予想される。そこで、まず、太閤検地に絞って考えることにより、秀吉の政策の意図を理解し、刀狩についてもどのような意図があったのか考えやすいようにする。

まとめの場面では、秀吉がどのような政策を行ったのかを自分の言葉で表現する。個々によって理解の深さが異なったり、異なった政策について記述したりすることが考えられる。そこで、振り返りをしたものを交流し(学びの共有化)、自分のまとめと他者のまとめとの共通点や相違点に気づくとともに、自分のまとめの不足分を補てんし、確かな理解としていく。

(3) 本時の展開 (4/6)

学習過程	学習活動	手だて・評価
<p style="text-align: center;">関 導 入</p> <p style="text-align: center;">習 展 開</p> <p style="text-align: center;">考</p> <p style="text-align: center;">ま と め</p> <p style="text-align: center;">関</p>	<p>■現在の生活と秀吉の政策の結びつきを知り，秀吉の政策に関心をもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1合，2合の大きさは400年以上前からあるんだ。</li> <li>・秀吉が決めたなんて知らなかった。</li> </ul> <p>秀吉は，どんなことをしたのかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">秀吉はどのような政治を行ったのだろう</div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">焦点化</div> </div> <p>■太閤検地の想像図をもとに，検地の様子をつかんだり，制度について知ったりするとともに，秀吉の政策の意図について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国でこれをやるのは大変だな。</li> <li>・それまでなかった年貢を払うルール作りをしたんだ。</li> <li>・どうしてそこまでしてルールを作りたかったのかな。</li> </ul> <p>■刀狩について知り，政策の意図について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうして農民は刀をもってはいけないのだろう。</li> <li>・秀吉はどうしてそんなルールを作ったのだろう。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                 太閤検地…年貢の管理                  刀狩…一揆に防止             </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">共有化</div> </div> <p>■秀吉の政策について，どのような取り組みをどのような考えで行ったのかノートにまとめ交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">秀吉は，太閤検地や刀狩を行った。 なぜなら，</div> <p>■3人の武将の性格や天下統一に果たした役割を伝えるうたを知り，歴史に対する興味・関心をもつ。</p>	<p>●実際の米や枴を用意してイメージがもてるようにする。</p> <p>●全体での話し合いがしやすいように検地の想像図を拡大して提示する。</p> <p>●検地の制度について説明を行う。</p> <p>●刀狩の制度について説明を行う。</p> <p>●左記を板書化し，秀吉の政策の意図について理解できるようにする。</p> <p>●書き始めを，「秀吉は，太閤検地や刀狩を行った。なぜなら，…」とし，記述内容を焦点化させる。</p> <p>&lt;評価&gt; 秀吉が行ったことを，その意図や果たした役割と関わらせて理解できている。</p> <p>●前時・本時・次時と継続して紹介し，全国統一への動きをつかめるようにする。</p>